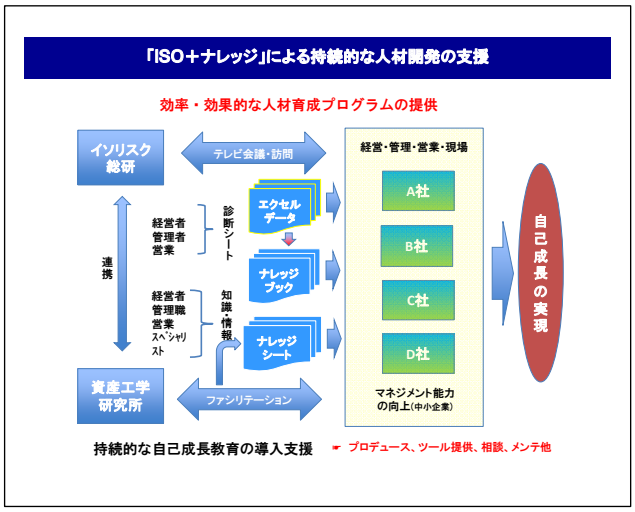
管理職の成功法則と診断シート

1.　目的

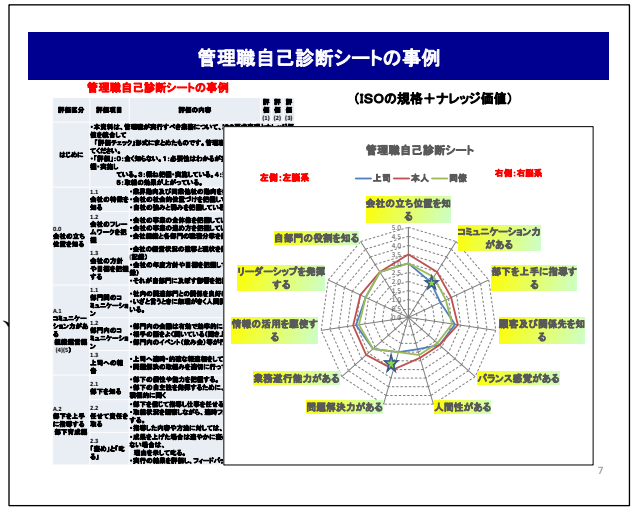
中小企業の管理職は、部門の業務を担いながら、経営の意向を理解し、現場社員の指導・育成、そして種々の問題解決を迫られている。自己診断シートという手軽な方法で、自分の管理能力を客観的に分析し、改善すべきところに気付き、自己（相互）啓発プログラムである。



2.　診断シート活用の手順

①　診断シートの作成

まず自己診断をする。診断の客観性を保つために、上司及び同僚の評価を同時に実施してもらう。

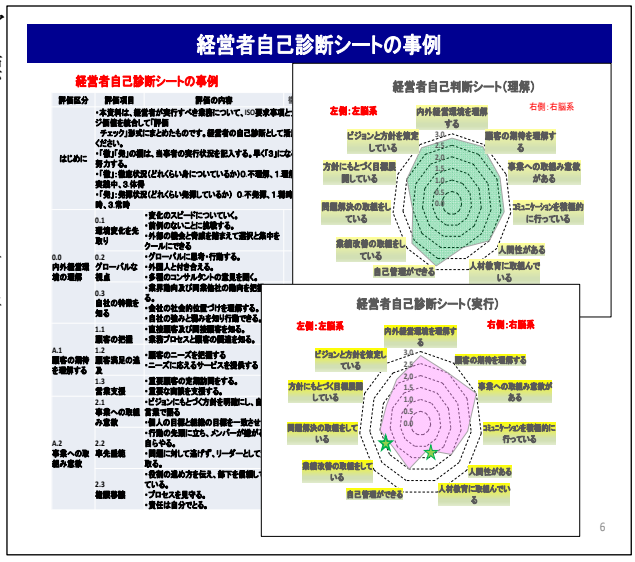


②　診断シートの分析

上司や同僚の意見も観光にしながら、良好点及び改善点を明らかにする。特に、自己評価と上司（同僚）の評価のギャップが生じているところに注目し、その具体的な理由を把握する。

③　取組むテーマの明確化

上記ステップを踏まえて、今後、半年から１年程度の期間に取組む改善テーマを３項目以内に絞って、その方法と目標値を設定する。

④　フォローアップ

設定した取組テーマについて、毎月進捗状況を確認する。一定の期間後に、診断シートによる再評価を上司（同僚）含めて実施する。